令和８年度
考古学フェア

あいちの考古学　2026

シンポジウム「弥生土器のはじまり」

日　時：　令和８年 11 月 29 日（日）午後1時から午後４時（開場午後０時 30 分）
会　場：金山南ビル 11 階　名古屋都市センター　ホール

講 演　「遠賀川式土器の波及と受容」
講 師　　黒澤　浩（南山大学教授）
シンポジウムパネラー：黒澤　浩（南山大学教授）
報 告「高蔵遺跡」村木　誠（名古屋市博物館副館長）
司会：永井宏幸（愛知県埋蔵文化財センター）



◆考古学セミナー　プログラム◆

■ 11 月 28 日（土）口頭発表

発表１　11:05「考古学実習室を使った参加型イベントの試み：南山大学 2026 年度オープンキャンパスの記録」村井咲月（南山大学大学院）
発表２　11:30「久留倍官衙遺跡国指定 20 周年　研究の現在地」中西　崚（四日市市シティプロモーション部文化課くるべ古代歴史館）
発表３　13:00「縄文時代の黒曜岩利用～三重県度会町上ノ垣外遺跡の事例～」吉野結香・増村 咲（南山大学）
発表４　13:25「2026 年度関ヶ原町不破関跡の発掘調査」大橋一心・清水遥陽（名古屋大学大学院人文学研究科）
発表５　13:50「犬山市・八曽地区の山茶碗窯跡群について―昨年度の踏査成果を中心に―」兼松泰弘（愛知学院大学大学院）
発表６　14:30「犬山焼の染付―瀬戸焼陶工の往来からの考察―」佐久間真子（愛知県陶磁美術館）
発表７　14:55「幸田町青塚古墳の埴輪について」長尾哲汰（滋賀県立大学）
発表８　15:20「古墳時代終末期の金で飾られた馬具―豊橋市上向嶋２号墳の評価―」岩原 剛（豊橋市文化財センター）

■ 11 月 29 日（日）口頭発表

発表９　11:00「岐阜県揖斐郡大野町野古墳群・乾屋敷古墳 2026 年度の調査成果」正田早嬉恵（南山大学）
発表 10　11:25「池田照政、苦闘の城づくり～吉田城に用いられた、范傷の著しい瓦について～」中川 永（豊橋市美術博物館）

◆会場
まちづくり広場
・ホール
入場無料
予約不要

＜ポスター展示＞

「史跡大曲輪貝塚（瑞穂公園）へ行こう！！」樋田泰之（名古屋市教育委員会文化財保護課）
「弥生ムラづくりプロジェクト（YMP）活動報告 2026」宇井雅俊・松本 彩・齋藤 聖・面田京子・梅本博志・原田 幹（あいち朝日遺跡ミュージアム）
「臨空第２公園及び道路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告」白樫　淳（株式会社アコード）
「幸田町青塚古墳における埋葬施設の成果と考察」神谷駿介（滋賀県立大学考古学研究室）・幸田町教育委員会
「2025 年度の神明社古墳群の発掘調査」内記 理（愛知県立大学）
「明治航空基地発掘調査の成果」石原奈緒子（安城市教育委員会）
「縄文土器の器種組成からみる遺跡間の関係　縄文時代晩期資料を対象に」清水遥陽（名古屋大学大学院人文学研究科）
「愛知県における弥生集落の動態研究の予察」髙本涼平・中川朋美（名古屋大学人文学研究科）
「下呂石原産地・湯ヶ峰の発掘調査（2）―TP11 における石器群の年代差―」伊藤彩花・見市 環・松山璃子・後藤小華・増村 咲・吉野結花（南山大学）
「三重県智積廃寺出土瓦の再検討」三谷聡大（名古屋大学人文学研究科）
「猿投窯の灰釉陶器・緑釉陶器に描かれる陰刻花文について」日下部亜虹（名古屋大学人文学研究科）
「土器実測の高速化・省力化を実現する新たな計測システム」向島凜也（三重大学人文学部）
「名古屋城石垣石丁場跡の調査―西尾市沖島石丁場跡―」大村 陸（名古屋市観光文化交流局名古屋城調査研究センター）
「XCT による須恵器製作技法の初歩的検討」
　弓場伸一郎・伊藤さくら・川瀬梨乃・向嶋凜也・吉谷祥一・藤本珠有・大河内璃乃・佐藤彩愛・金田明大（三重大学人文学部）
「あなたの「推し土器」は？―「どきどきフレンズ」からはじめる土器の推し活」瀧 はる香（一宮市博物館）
「あいち埋文サポーターズクラブ活動紹介」あいち埋文サポーターズクラブ
「今まで見えなかった器（うつわ）の中を大公開 !? 写真から中身を3D にする最先端技術にチャレンジ」荒木徳人（愛知県埋蔵文化財センター）
「名古屋市東区西二葉町遺跡出土 愛知一中期の三角定規について」川添和暁（愛知県埋蔵文化財センター）



◆考古学フェスタ◆ 11 月 15 日（日）正午～午後4時

「石器づくり体験」野村啓輔（東海石割り会）
「こども学芸員」青木 修（犬山焼ミュージアム）
「ジョウモンドキ体験～ ‘考古学者’ 気分を味わおう！～」鈴木康二（南山大学人類学博物館）
「ドキ土器ハンカチ ワークショップ」蔭山誠一（愛知県埋蔵文化財センター）

【主催】公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団　【共催】公益財団法人名古屋まちづくり公社